

セメント・同製品製造業における飛来・落下災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	14～ 15	新規に搬入された型枠を場内に配達中、クレーンで型枠を反転作業していた時にチェーンのフックが外れ、右足に倒れて落ちた。	39	10 ～ 29
2	15～16	敷地内で、コンクリートブロック（1メートル四方）の移動作業の補助をしている時に、重機で吊られたコンクリートブロックが想定以上に揺れ、コンクリートブロックと敷地の壁に挟まれて負傷した。	27	1 ～ 9
6	9～ 10	RC工場で建築部材の梁(2t)を脱型作業中、製品底部に埋め込んであるインサートを止めているボルトがある為、製品と一緒に底板枠を吊り上げ、リフトに置いてからボルトを外すつもりでいたが、その前にボルト位置を確認しようと型枠下に体を入れボルトに触れたところ、ボルトが抜けて型枠が落下し、型枠に挟まれた。	53	50 ～ 99
6	16～ 17	工場内において、ライン（自動制御）にてストーンサークルA形型枠を4番養生槽へ移動していたところ、約10cm手前で止まっていたため手動に切り替え、定位置に進めるためプッシャーと型枠架台の間に角材（75×75×2050mm）を入れ、定位置まで移動した。一回目の動作で型枠架台が動いたが、角材が外れたため位置を直し再度押し、定位置に達したのでストップの合図をしたが、それと同時に角材が中央部で破損し、破片が顎に当たり負傷した。	68	30 ～ 49
6	10～ 11	工場内において、ミキサー車のドラム内に付着しているコンクリートを研っていたところ、取れたコンクリート殻が落ちて転がり、左膝に当たってしまい打撲した。	54	1 ～ 9
	11～	工場内でコンクリート製品を脱型中に手が滑り、スチール型枠共に右足に落下した		1

6	12	際、右人差指を骨折した。	58	～ 9
7	10～11	作業所内で天井クレーンを使用し、鋼製型枠を振動台の上で移動、設置の作業中、クレーン下げ動作で型枠が振動台上に接地したと思ったが、実際には高さ10mm程度のズレ止めの上に乗っていて、型枠がずり落ちた衝撃で左手を添えていた型枠部品が激しく左手に接触した。	54	10 ～ 29
7	10～11	現場へ建築用コンクリートブロック（12cm、重量11.2kg）162個を配達した際、荷降ろしのため商品を固定していたラッシングベルトを緩めたとき、最上段に積載していたブロックが1個落下し、右手人差し指に当たり負傷した。	33	1 ～ 9
7	9～10	ブロック工場資材置場付近で、製品の脱型のため、リフト（クランプ車）で高さ30cm位の所まで製品（約43kg）を上げて、製品表面に付いている鉄板を外す作業中に、左先端の1個が外れ落下した。その際、たまたま製品の在庫確認のためにいた本人の左足甲の上に落ち、左足中指・薬指を骨折した。	59	30 ～ 49
11	16～17	コンクリート打設準備作業場で、鉄製型枠の清掃及び組み立て作業をしていたところ、クレーンにて型枠を移動中フックが外れ、約40kgの型枠部材を20cmの高さから右足甲に落とし負傷した。	49	10 ～ 29
12	9～10	場内作業場において、建屋内の伸縮クレーンで脱型した直L（TVPE1）H1600（1469kg）を建屋外の仮置き台に載せたとき、担当者が脱型治具を片側だけ外した状態で現場を離れた。現場近くにいた被災者は、脱型治具が完全に取り外されていると思い込み、クレーンを移動させようと操作したところ、製品片側が吊り上がり、仮置き台より製品が落下して、左足の甲に被災した。	65	50 ～ 99

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html